



TITLE:

まえがき

AUTHOR(S):

岩本, 武和

CITATION:

岩本, 武和. まえがき. 岩本ゼミナール機関誌 2005, 9: 1-3

ISSUE DATE:

2005-03-24

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/56939>

RIGHT:

I. ま え が き

この機関誌も第9号を数え、岩本ゼミも10期生を見送ることになりました。これで卒業生は80名を越え、現役生を合わせると、ようやく100名を越える人数になりました。大学院生も急増したので、今年からは、名簿に「大学院卒業生・在籍者」を加えました。

卒業するみなさんへ

10期生の皆さん、卒業おめでとう。1学年3名というのは、1期生を除くと、岩本ゼミ開設以来、最も少ない人数でしたが、ゼミ長の松岡君は、3年間のゼミ生活を通じて、岩本ゼミ開設以来最高の出席率ではなかったでしょうか。本当に真面目で熱心に取り組んでくれました。「京都大学経済学部→大阪大学大学院経済学研究科」というのが、関西での研究者の王道なので、大成を期待しています。松永君、とにかく無事卒業、がんばったね。このゼミで何十回となく繰り返したプレゼンで、確かに君は成長したと確信しています。柳田君は、ユニークなキャラクターで、みんなをよく笑わせてくれました。このゼミに所属したことは、間違いなく、これからの生活で効いてくるはずです。

この場を書くのは相応しくないかもしれませんが、長年に渡って岩本ゼミの事実上のTAの立場にあった柴田君が、4月から晴れて同志社大学商学部に着任しました。言葉に尽くせぬ感謝の気持ちがあります。早く私も柴田から自立せねばならないのですが、近くなので、これからもよろしく。

近況報告

私は、この1年半、教科委員会のメンバーで、昨年10月からは教科主任という立場にありました。要するに、大学院生・学部学生の入学から卒業までの教育全般に渡っての権限と責任を持つ立場でした。というか、いま経済学部は55人の教員スタッフがいますが、おそらく研究科長(学部長)の次くらいに多忙な役職にあ

りました。少しばかり中枢部から学部運営に関わったことは勉強になりましたが、やはり今月末で開放されることを心待ちにしています。

昨年生まれた息子も、ようやく1歳を過ぎ、ハッスル、ハッスル、元気いっぱいの日を送っています。私のことは、まだパ・パ・パー……とか、タ・タ・ター……とかしか言えませんが、そろそろ、至る所に柵を設け、家中のドアや家具の扉、とりわけ本棚やパソコン周辺に、何らかの防御策を施さなければならぬ時期になってきました。この子について書くことは、全てが親ばかりにしかありませんので、止めます。

相変わらず、ろくに研究していませんが、相変わらず、今も複数の締切りに追われています。ずっと思っていることですが、つくづく私は、「易しいことを難しく言う」(一般化する研究)より、「難しいことを易しく言う」(具体化する教育または啓蒙)の方に、比較優位があるようです。しばしば学生や聴衆から、「分かり易い講義だった」という評価を受けますが、それは、一般の研究者が短時間で理解できることでも、私はその数倍の時間をかけて理解せざるを得ない、というハンディキャップを背負っているからだと思います。したがって一般の水準を維持するためには、その数倍は勉強時間を必要とするにもかかわらず、数分の一の時間しか持てない……というのは、全て言い訳ですよ。

昔、父がよく言っていた言葉を思い出します。「ファインプレーをする奴は、本当は下手くそや。怪我をして同情される奴も、下手くそな奴や」。確かに、イチローは、怪我もしないし、ファインプレーとは思わせないプレーが多いですね。同様に、忙しい、忙しいとボヤク奴、周りから忙しそうに見える奴は、無能な人間です。だから私も無能なのです。来年の今頃は、何を理由にボヤいているか、今からでも想像がつかます。

かく言う私も、さすがに溜(貯)まってきたので、40台の残された数年のうちに、はき出したいと思っています。

卒業したみなさんへ

今年の年賀状で、「三十路を迎えるガケップチ」という卒業生の(>_<)メッセージをもらいましたが、四十路もあとわずかな私から言わせれば、三十路なんて(^^)／ってなもんですね。20 台は『ウィルヘルムマイスターの徒弟時代』、30 台でも『修行時代』ですわ。この少子高齢化時代、男も女も賞味期限が長くなりましたからねえ。とは言うものの、早い人は早い。IT バブル期のアメリカのように、30 台で財をなし、そして破滅し、40 台で引退という人も増えてくるかもしれない。今のホリエモンが、この先どうなるか見物だね。

去年は、留学用の推薦状を 2 人に書かせてもらいました。というか、猪俣君からは「名前を借ります」の電話一本で済み。藤中君とは何回メールのやりとりをしたでしょうか？ 彼の書いた下書きまで、私が院生にネイティブチェックさせてもらいました。この 2 人、性格の違いとか、生き方の違いとか、まあどちらも成功を祈っています。遠藤君には、いろいろご教示をいただきました。今は全然違うことをやっていますが、またの機会に色々教えて下さい。

加地君、結婚おめでとう。お久しぶりの浅井君も、結婚おめでとう。一年前にここでお祝いを述べた濱君にも、子どもが生まれたそうな(うちの息子と同年だね)。丸山君の子ども 1 歳になったそうな。酒井浩子が結婚して、安保浩子になったことは、驚天動地でした。大学院にいた闇さんを覚えていますか？ 彼女は今、アメリカの Southwest Missouri State University で職を得て、同大学の教授と結婚しました。現役の大学院生の房さんも、結婚しました。

カンボジアからの留学生のサムナンを覚えていますか？ 何と、今年度私の大学院演習に出席していた同じカンボジアからの留学生と結婚しました。昨年末に、カンボジアで行なわれた結婚式の招待状をもらいましたが、さすがに年末年始に重なり、出席できませんでした。京都で 2 人のお祝い会をやろう、という安請け合いのメールを書きましたが、上記のように慌ただし

くて、叶いませんでした。お許し下さい。下記のように、今年は「青竹会」を開催する予定ですので、ぜひトーン・パリさんと一緒にご出席下さい。

サムナンは一例で、皆さんもご存じと思いますが、柴田君の前に、長年に渡って TA をしてくれた高橋信弘君(大阪市大商学部)も、いま私が大学院で指導教員となっている李美多さんと結婚しました。相変わらず学部ゼミは女性が結構多いし、大学院は明らかに女性が多い。私は、出会いの場を提供しているような気がします。

お願いと連絡事項

最後にお問い合わせと連絡事項を書きます。

- (1) 名簿の正確さを期すために、**間違いや異動が合った場合には、必ずメールで連絡を入れて下さい**。岩本宛て(iwamoto@econ.kyoto-u.ac.jp)でも構いませんが、4 回生ゼミ長の吉田晋也君(y-shinya@yg8.so-net.ne.jp)か、岩本ゼミ HP 管理人で大学院生の荒戸寛樹君(h_arato@yahoo.co.jp)かに、連絡を入れてもらえると助かります。
- (2) 本来なら昨年開催するはずであった「**青竹会(第 4 回)**」を、今年は開催したいと思っています。3 連休初日の**9 月 17 日(土)**を予定しています。場所は、前回と同じく京都駅前のホテルを考えています。卒業生の皆さんも、これは言い訳でなく、本当に多忙な年代に入ってきたと思いますので、青竹会のあり方も考え直さなければならないかもしれません。まあ、まだ先のことで、改めてご連絡しますが、一応予定に入れておいて下さい。

というわけで、できるだけ今年は、9 月にお目にかかりましょう。皆さんのご活躍をお祈りしています。

2005 年 3 月 14 日

岩本 武和